



2021年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社ウイルプラスホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 成瀬 隆 章
(コード番号：3538 東証第一部)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 柴田 学爾
(TEL. 03-5730-0589)

2021年6月期通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び 配当予想(増配)に関するお知らせ

当社は、2021年2月10日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年8月14日に公表いたしました2021年6月期(2020年7月1日～2021年6月30日)の通期業績予想を以下のとおり修正いたします。また、2020年12月31日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を行うことを決議し、通期業績予想の修正に伴い、2021年6月期期末配当予想について修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年6月期通期連結業績予想数値の修正(2020年7月1日～2021年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	36,134	1,180	1,170	737	77.68円
今回修正予想(B)	38,344	1,836	1,830	1,180	124.39円
増減額(B-A)	2,209	655	659	443	—
増減率(%)	6.1	55.5	56.3	60.1	—
(ご参考)前期実績 (2020年6月期)	35,068	1,160	1,196	802	85.32円

(2) 業績予想修正の理由

2021年6月期第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、より安全な移動手段としての自動車への需要が増え、中古車販売を中心とした車輻販売が堅調に推移いたしました。また、利益面では、売上高の増加に加え、比較的原価率の低い中古車売上の全体の売上に占める割合が増えたことや、コスト削減をはじめとする利益率の改善を図ったこと等により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回公表の通期業績予想を超える結果となりました。

一部ブランドにおける商品入荷の時期等の懸念材料はあるものの、足元の受注状況並びに当第2四半期連結累計

期間の業績等を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益それぞれ上表のとおりと修正することといたしました。

2. 剰余金の配当（2021年6月期中間配当）及び配当予想の修正について

（1）中間配当の内容

	年間配当金		
	決定額	直近の配当予想 (2020年8月14日公表)	前年実績 (2020年6月期)
基準日	2020年12月31日	同左	2019年12月31日
1株当たり配当金	5円00銭	同左	5円00銭
配当金の総額	47,798千円	—	47,198千円
効力発生日	2021年3月10日	—	2020年3月10日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回予想 (2020年8月14日発表)	5円00銭	8円59銭	13円59銭
今回修正予想		16円77銭	21円77銭
当期実績	5円00銭		
前期実績 (2020年6月期)	5円00銭	9円00銭	14円00銭

（3）配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様に対する配当政策を経営の重要課題の一つと位置づけており、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。通期業績予想の修正に伴い、期末配当金を当初予定の8円59銭から8円18銭増配の16円77銭に修正いたします。

なお、当社では、2020年6月期より連結配当性向の目途を従来の15.0%から17.5%に変更しております。

（注記）

上記の予想は、本資料の発表日現在に入手可能な資料を基に作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上